

ADVANCE

～ 一歩前へ進もう ～

平成26年度 1年A組

睦月 / 19

学級通信 114 号

着付けの学習をしました



金曜日に家庭科の授業で「ゆかたの着付け」を学習しました。講師の方たちに学校に来ていただいて、実際にゆかたを着させてもらいました。男の子は割とささっと着ていましたが、女の子はなかなか大変そうでしたね。

家庭科の諏訪先生から、着るだけではなくて歩いたり走ったりして、その様子を見てもらうように言われました。「走れるよ」とその場で走るまねをしている人もいましたが、実際やってみてどうだったのでしょうか。確かに走ることはできるけれど、ゆかたの前のすそがはだけてしまい、見苦しくなっていたと思います。その後、座り方も説明されていましたが、足をそろえて座らないとまたゆかたがはだけて見苦しくなります。何気ない所にも気を配らないといけないですね。

身のこなしや動作、しぐさのことを「所作」といいます。今はあまり耳にしなくなったようにも思うけれど、日本人は所作というものを結構重視してきたのではないかなと思います。例えば、身だしなみを整えることを心がけたり、お礼やお辞儀を大切にしたりする文化が日本にはあります。今あまり重視されなくなってきてしまったことの中に、日本人らしさがあるのではないかな、とみんなの授業の様子を見ていて思いました。

昔は普段の何気ないことから正しい所作を身に付けることができたけれど、今はなかなかできない時代かもしれません。せっかくの機会なので今回経験したことを日常生活に生かせるようにしてほしいと思います。